

防コミの歩き方

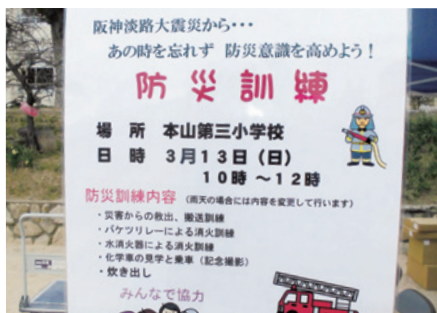


地域おたすけガイドの検証訓練を実施しました!

本山第三小学校区は、東灘区の東端に位置し、六甲山麓から国道2号線にわたって、閑静な住宅街が広がっています。

自然災害に対する備えとしては、地震と風水害への対策に熱心に取り組んでいます。昨年度は、災害初動対応マニュアル「地域おたすけガイド」の地震編及び風水害編を作成しました。

作成したからには、訓練により検証することが必要であり、さらに、地域の多くの方に「地域おたすけガイド」の存在について知っていただくため、地域の全体訓練に合わせて「地域おたすけガイド検証訓練」を実施しました。



3月13日10時から防災訓練を実施するため、地域住民約150人が本山第三小学校に集まりました。例年は、防災福祉コミュニティの役員が参加者に訓練内容を説明してから、各ブースに分かれて防災訓練をおこなっていましたが、今回の訓練は「土砂災害が発生し、建物に取り残された住民を救出する!」という想定を訓練参加者に伝えて、スタートしました。



訓練内容の詳細を知っているのは防災福祉コミュニティの役員だけで、地域おたすけガイドに基づき、訓練参加者に安否確認や救出救護の役割を与えて、あらかじめ小学校の教室に待機していた要救助者役の住民を救出し、運営本部で情報を集約するという内容の訓練を実施しました。

訓練参加者は、内容を知らされず実施したため、救出及び情報集約に時間がかかりました。その状況を見た役員が「これじゃあかん!もう1回やる!」と宣言し、再度訓練をおこない、1回目よりスムーズにおこなうことができました。



「阪神・淡路大震災から...あの時を忘れず防災意識を高めよう!」を合言葉に、本三防コミは防災に熱心に取り組んでいます。

(東灘消防署 田中由紀)